

令和7年度(3月)地域医療構想調整会議 事前質問

番号	医療圏	資料番号	項目	内容	回答	担当部署
1	市原	資料3	地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業	資料から市原医療圏では産婦人科診療所がかなり減少しているようですが、市原医療圏内の全体の分娩数はどうなっているのでしょうか。	令和6年病床機能報告オープンデータによると、市原医療圏の分娩数は1,336件でした。	医療整備課 (地域医療構想推進室)
2	市原	資料3	地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業	資料から小児科医数が少ないようです。偏在率も高いと思われそうですが、地域による偏在率の違いはどうなのでしょう。医療機関での取組には限界がありますが、県としてはどうでしょうか。	小児医療需要を踏まえ相対的に小児科医が少ないのは、東葛南部、東葛北部、山武長生夷隅、君津医療圏です。 市原医療圏を含め、小児医療体制に関する全県での取組としては、新たに小児の外来診療を行う医療機関に対して、小児医療に関する研修費用や小児診療に必要な機器の購入費用等への助成があります。 また、小児科医を目指す医学部生への修学資金の加算や、小児の専門研修に関する合同セミナー、見学会などを行うことで、小児科医の増加に取り組んでいます。	医療整備課 (医師確保地域医療推進室)
3	市原	資料外	県内看護師の進路看護師確保の取組	市原医療圏では看護師不足は深刻ですが、他の医療圏でも不足があると伺っています。県内の看護学校卒業生の進路はどうなっているのでしょうか。また、県内就職の推進の取組はどうなのでしょう。	県内の看護学校卒業生の進路ですが、令和7年3月の卒業生数は、2,602名です。 そのうち、 看護職として県内に就業した者は1,593名(61.2%)、 県外に就業した者は837名(32.2%)、 看護系の進学者は63名(2.4%)、 就業しなかったなどのその他が109名(4.2%)となっています。 また、県内就職の推進の取組についてですが、看護学生への修学資金の貸付けやナースセンターでの就業支援のほか、看護学生が実習を行った病院に就業する傾向が高いことを等を踏まえ、実習を受け入れる病院への支援や、実習指導者向けの講習会の開催などに取り組んでいます。	医療整備課 (看護師確保推進室)
4	市原	資料外	県立病院の移転・再編計画	患者さんの紹介で県立こども病院、県救急災害医療センター、県循環器病センターなど県立病院には大変お世話になっていますが、移転や再編の話聞くことがあります。具体的な検討が進んでいるのでしょうか。	現時点で、具体的な検討といったものは行われていません。 なお、県立病院の厳しい経営状況を踏まえ、県立病院として必要な医療提供体制を維持していくため、病院経営に関する抜本的な改革について検討を進めていく病院経営改革検討会議を開催して、有識者の御意見を伺っているところです。	健康福祉政策課 (政策室)